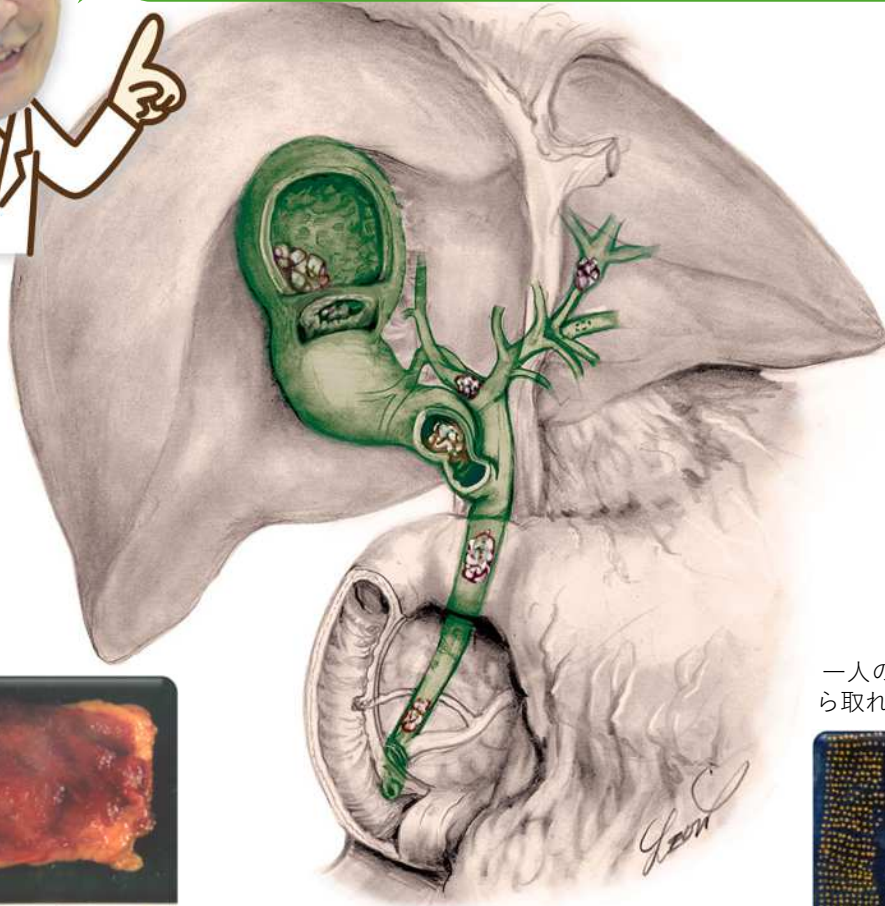




右上の腹部にズキズキした痛みを感じたら、**胆石症/胆嚢炎**の疑いがあります。



摘出した胆のう

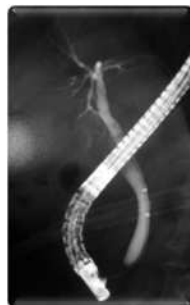
一人の患者さんから取れた胆石848個



腹部エコー



CT画像



内視鏡検査



腹腔鏡手術の様子

胆石症は胆道の中で、澱んだ胆汁が石のような固まり（結石）を形成し、時に痛みや発熱などの様々な症状を引き起こす病態の総称です（**Charcotの3主徴**「疼痛、黄疸、発熱」）。結石の発生する場所によって胆のう結石、総胆管結石、肝内結石と呼ばれ、それぞれで結石を構成する成分も異なり、症状や治療法、重症度も違います。

胆のう結石が存在しても、胆のうの機能や形状は保たれ症状がないことも多いのですが（**silent stone**）、胆管に繋がる細い管が詰まり胆汁のうっ滞と共に炎症をおこすと、主に右上の腹部を中心に強い痛み発作をおこします。食後に起きやすいのが特徴で、胆のうの存在する右の肋骨の下に局限する上腹部痛（**Murphy徴候**「息を吸うときの圧迫痛」）、発熱では胆石症による胆のう炎が強く疑われます。